

## 活動紹介 ～安房地域母親大会実行委員会・構成団体～

### 国連NGO新日本婦人の会 館山支部

新日本婦人の会（通称：新婦人）は、平塚らいてう、いわさきちひろなど各界の女性の呼びかけで1962年10月に創立されました。核戦争から女性と子どもの生命をまもること、平和憲法をまもること、世界の女性とてつなぐことなどを会の目的としています。核廃絶の取り組みが評価されて、2003年に国連に認証されたNGOです。この度の被爆者団体協議会の「ノーベル平和賞」受賞は、まことに嬉しく、あきらめないでやる活動の大切さを教わりました。

館山支部は、全国組織と同じ1962年に結成され、今年63年目を迎えます。会の目的と要求実現のために、月に一度の班会を開き、サークルではお米小組、憲法を声に出して読む会、畑小組、園芸倶楽部、着付け小組、和菓子を楽しむ会、手作りの会など、生きがいを持って行動しています。また、昨年1月の能登半島被災者支援のため、不用品交換会で支援金を集め、また、冬の寒さに暖を届けたいと、レッグウォーマーをみんなで編んで届けました。

ロシアのウクライナ爆撃は続くものの、イスラエルのガザ銃撃は一時停戦を実現しました。これに抗議し、3日と19日にスタンディングで平和を訴えています。続けることが一番です。

### 国連NGO新日本婦人の会 鴨川ひまわり班

毎月第二火曜日の午前中、10名のメンバーが公民館で班会を開いています。レイラ化粧品の美容講習や、小さなオアシスに生花を活けたりしています。新聞タイムは、コラムなどの読み合わせをします。コロナ禍のあと、ティータイムがなかなか取りづらくなりましたが、介護・健康・通院など、皆の話は尽きません。これからも小さい班ならではの密な連携で、元気に活動していこうと思います。

### 国連NGO新日本婦人の会 鋸南やまゆり班

2019年やまゆりの咲く季節に、鋸南やまゆり班が誕生しました。

少人数ながら各々が様々な活動をし、多忙な中、おしゃべり会やお食事会などで交流を深め、楽しく活動しています。

### 全日本年金者組合 安房支部

1989年に大型間接税（現消費税）実施反対の声を上げ、全日本年金者組合が結成され、各地で次々と支部が発足しました。安房支部も同年20余名で創設され、現在の会員は230余名（千葉県5位）です。「マクロ経済スライド」を廃止し、物価上昇を上回る支給額に引き上げること、隔月の年金支給ではなく国際標準である毎月支給に変更することなど、誰もが安心できる年金制度を国に求める運動を展開しています。特に女性の年金支給額が低いので、男性との格差をなくす事が求められます。国連から日本政府に改善を求める勧告がされていますが、私たち組合でも要請しています。

「ひとりぼっちをなくそう！」というスローガンのもと、毎月実施しているお楽しみ会や、千葉県年金者組合で唯一発行している文集『なの花』などを通して、会員の交流を図っています。安房地域母親大会実行委員会の構成団体として、これからも連携を図り、母親運動を支えていきます。

### NPO法人安房文化遺産フォーラム

足もとに残る戦争遺跡や多様な文化遺産を「館山まるごと博物館」ととらえ、市民による学習・研究・展示・保全などのエコミュージアム活動を通じて、教育支援やまちづくりを進めています。戦跡ガイドや日韓・日米の交流、ウガンダ支援交流、知恵袋講座、安房南高校木造校舎の保存活用を求める署名・草刈りなど、様々な活動を展開しています。

平和学習などのツアーガイドは、10名以上で承っています。詳しくはQRコードのサイトに参考資料や動画紹介を見られます。今年は、戦後80年の調査研究や学習会を企画していきます。

テキスト『館山まるごと博物館』『小学生がつくったタカラガイ図鑑』『レシピ集・おらがごっつお』など魅力的なガイドブックや、フェアトレードの美味しいウガンダ珈琲などは、オンラインショップから購入できます。安房地域の歴史をもっと知りたい方、ガイドツアーのお手伝いなどに貢献したい方、会員募集中です（年会費2,000円）。

